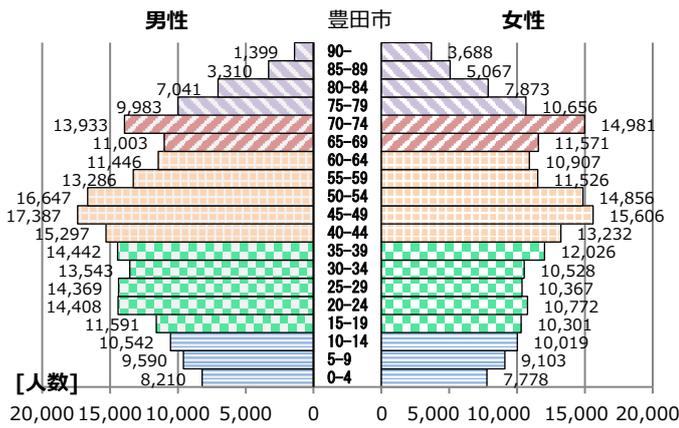


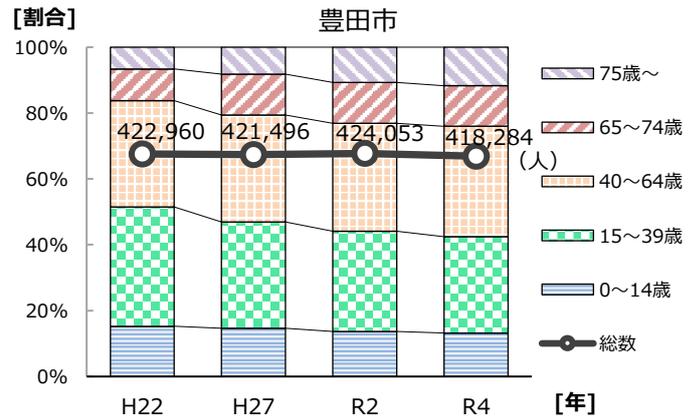
猿投台中学校区 地域健康カルテ (令和4年度概要版)

● 豊田市の情報 ●

①男女別年齢階級別人口 (令和4年4月1日)



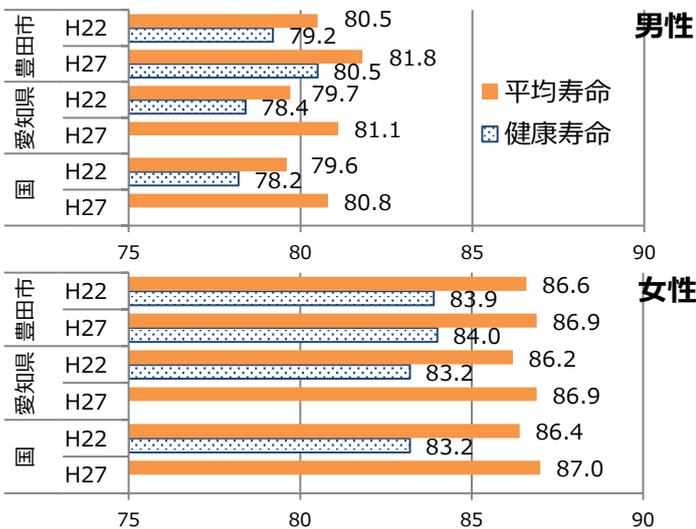
②人口推移 (各年4月1日)



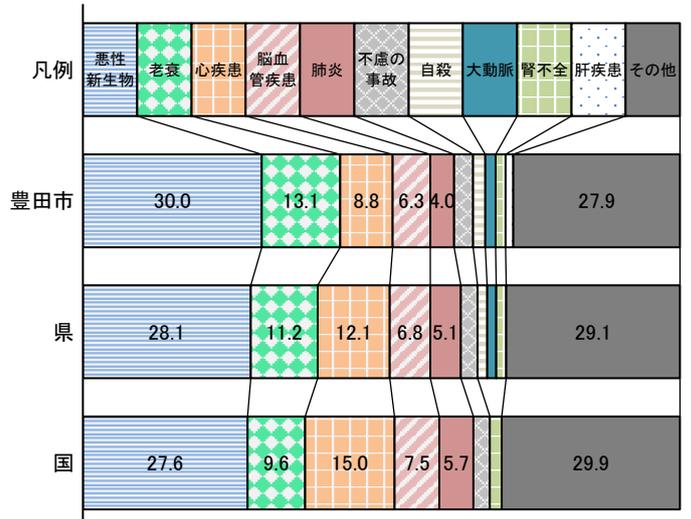
③人口構成 (令和4年4月1日)

・総人口：418,284人 (男性 217,427人、女性 200,857人) ・世帯数：183,262 ・高齢化率：24.0%
 ・要介護認定率：15.4% (令和4年10月1日) ・外国人：17,540人 (ブラジル、ベトナム、中国他)

④平均寿命と健康寿命

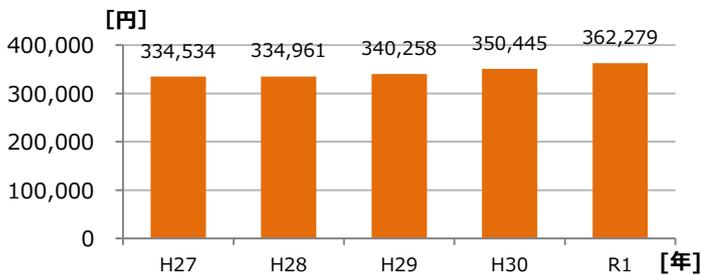


⑤主要死因別順位 (令和2年度)

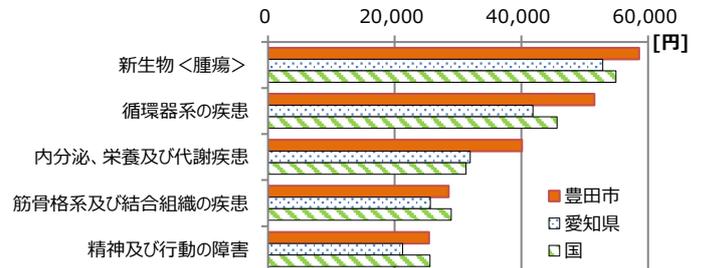


国民健康保険 医療費データ

⑥一人当たり医療費 (豊田市)

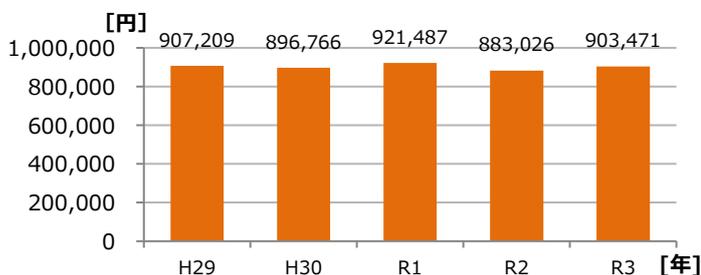


⑦一人当たり医療費疾病別上位5位 (令和3年度)

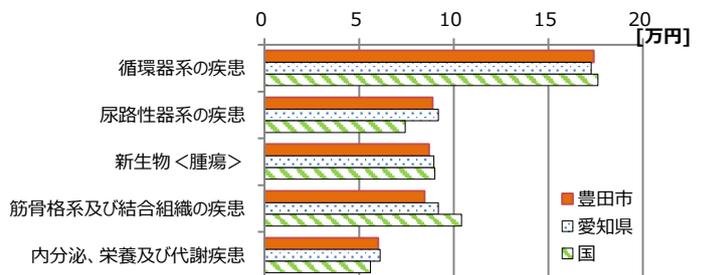


後期高齢者医療制度 医療費データ

⑧一人当たり医療費 (豊田市)

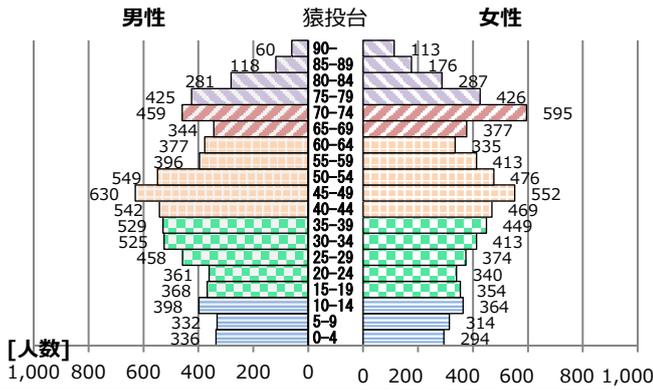


⑨一人当たり医療費疾病別上位5位 (令和3年度)

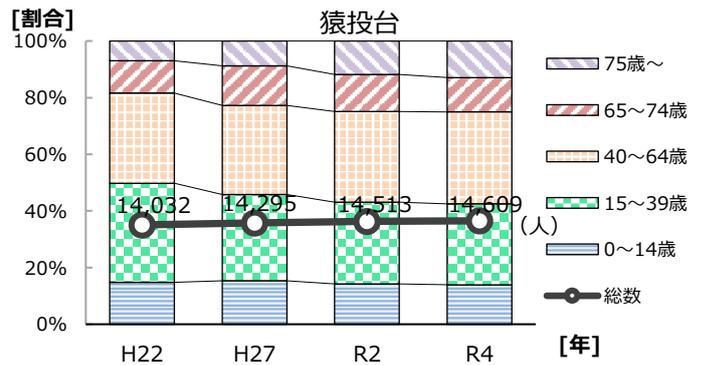


● 猿投台地区の情報 ●

⑩男女別年齢階級別人口 (令和4年4月1日)



⑪人口推移 (各年4月1日)



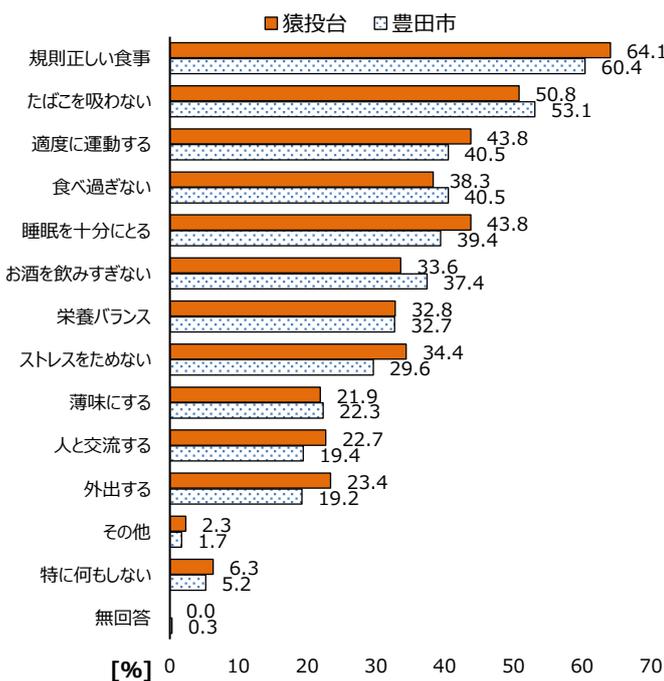
・総人口：14,609人（男性7,488人、女性7,121人） ・世帯数：6,225 ・高齢化率：25.1%
 ・要介護認定率：16.1%（令和4年10月1日） ・外国人：408人

⑫地域の組織やその活動 ※新型コロナウイルスの影響で、一部中止の事業もあります

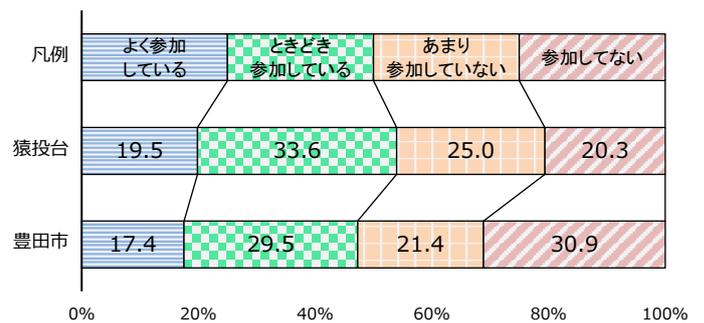
名称	内容等 (令和4年4月)
自治区数	・11自治区
地域課題解決事業	・矢作川河畔利用促進事業(環境対策)
交流館	・自主グループ32グループ(うち健康・スポーツは5グループ)
ヘルスサポートリーダー	・会員数12人 ・地区活動として、高齢者クラブ行事やウオーキングイベント、交流館ふれあいまつりにて健康チェックを実施 また、交流館と共催で夏休み子どもクッキングを開催 ・平戸橋二区、交流館サロン(楽笑サロン)にて、月1回介護予防体操を実施
高齢者クラブ	・9クラブ
ふれあいサロン	・6サロン
元気アップ教室 自主グループ	・自治区：荒井、中越戸、下越戸、青木、青木 ・その他：猿投台元気アップ教室(交流館)
その他	・区長会、地域会議、コミュニティ会議、ヘルスサポートリーダー等で構成される【猿投台いきいき健康づくり】と共働で平成29年【猿投台地区健康づくり計画】を作成 ・元気アップ教室 西広瀬自治区(R4年度)開催し、自主グループ化している。

市民意識調査(令和3年度)

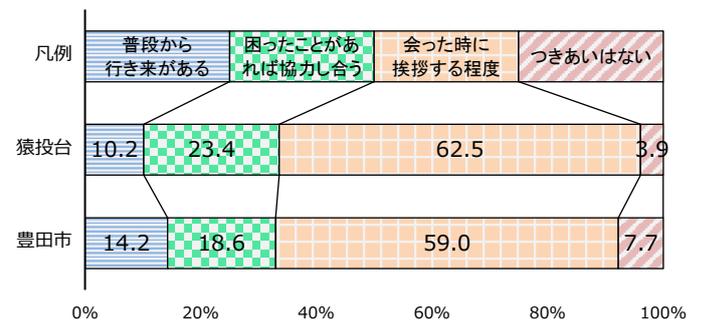
⑬健康づくりの取組内容



⑭自治区・地域活動への参加状況

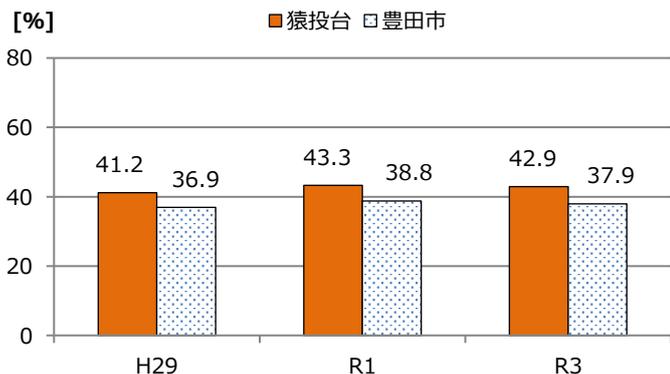


⑮実際の近所づきあい

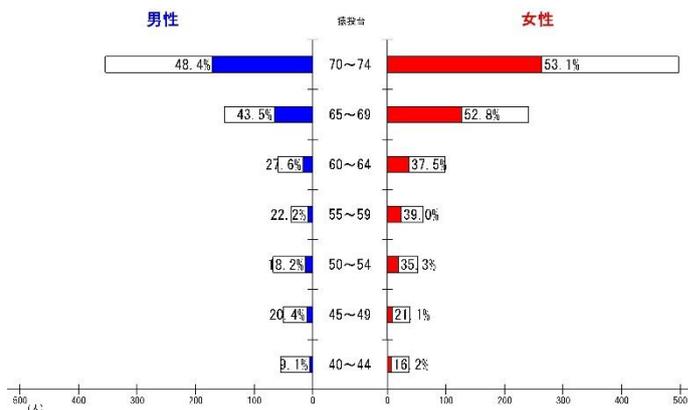


豊田市国民健康保険 特定健康診査(令和3年度)

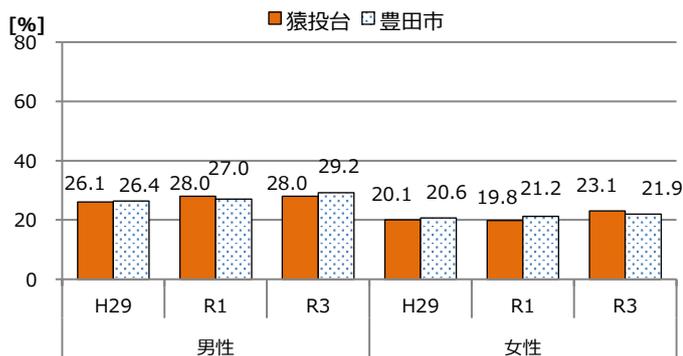
⑬ 健診受診率



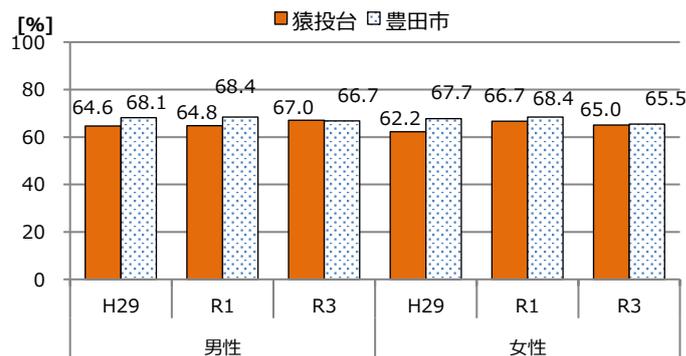
⑭ 年齢別受診者数(対象者数 1,756 人,受診者数 754 人)



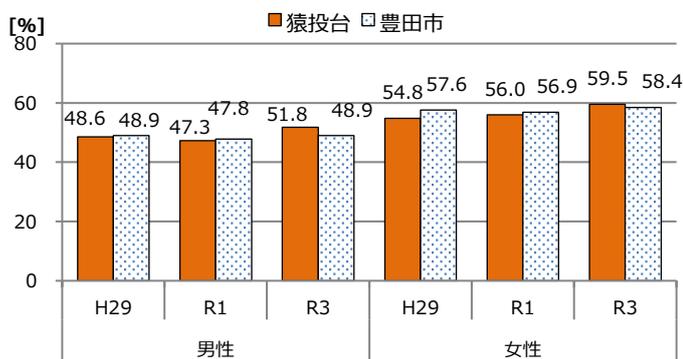
⑮ BMI (25 以上)



⑯ HbA1c (5.6%以上) *糖尿病の指標の検査項目



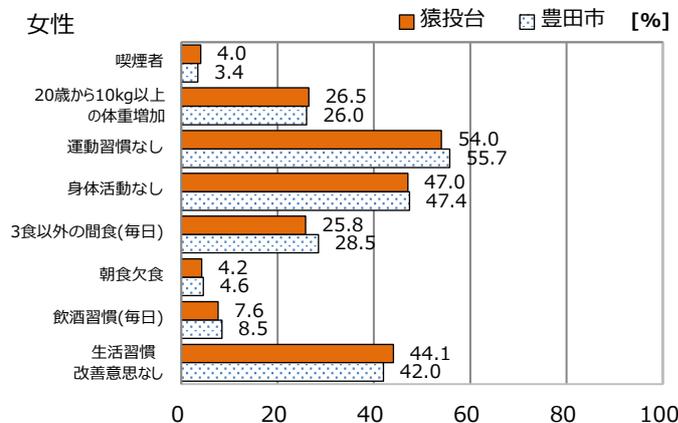
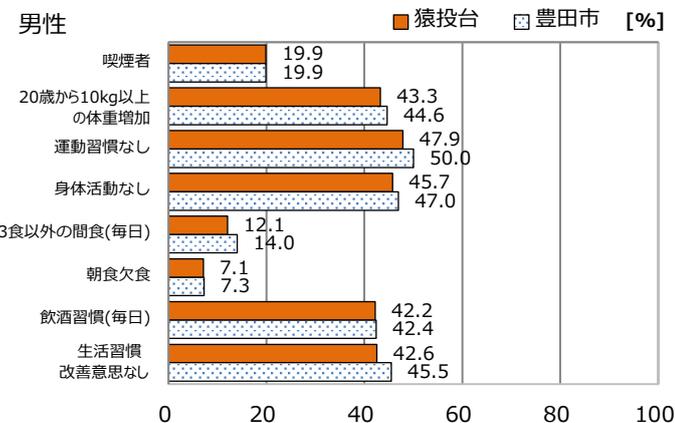
⑰ LDL コレステロール (120mg/dl 以上)



⑱ 収縮期血圧 (130mmHg 以上)



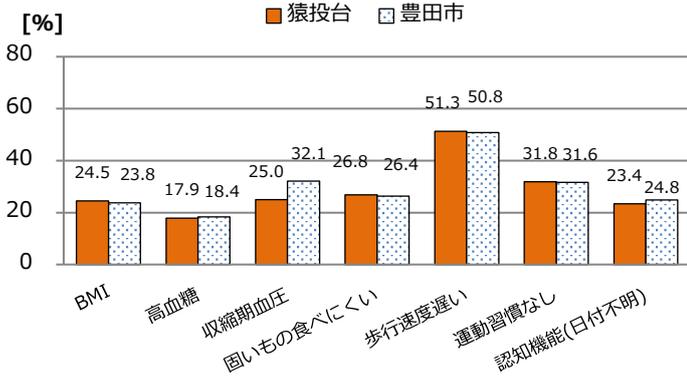
⑲ 問診



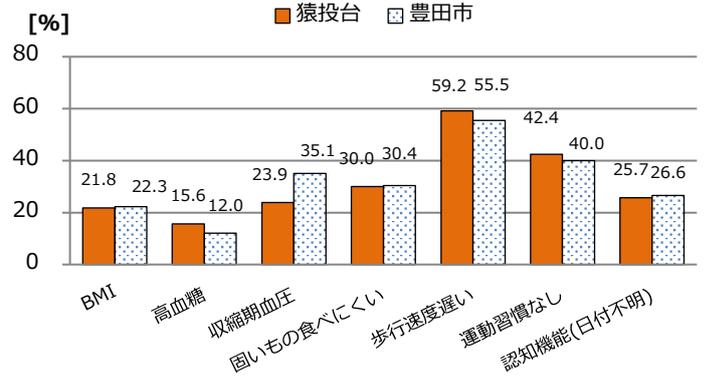
⑳ 国と比較して有意に差がある項目 [年齢調整]

国と比べ高い項目	性別	項目
国と比べ高い項目	男性	生活習慣改善意思なし
	女性	生活習慣改善意思なし
国と比べ低い項目	男性	-
	女性	飲酒習慣(毎日)

㉔男性



㉕女性

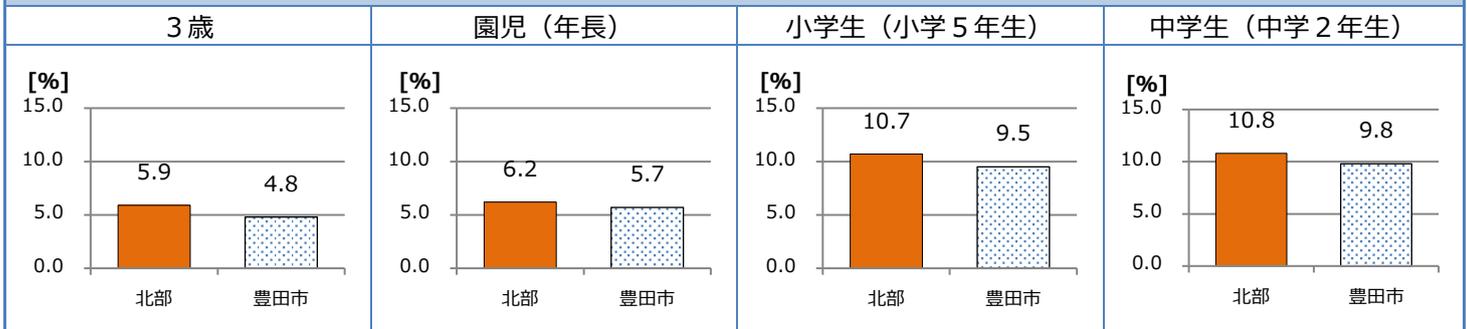


【検査項目の基準】 BMI : 25 以上 高血糖 : HbA1c 6.5%以上 収縮期血圧 : 140mmHg 以上
 【地区の受診者数】 757 人(男性 380 人、女性 377 人)

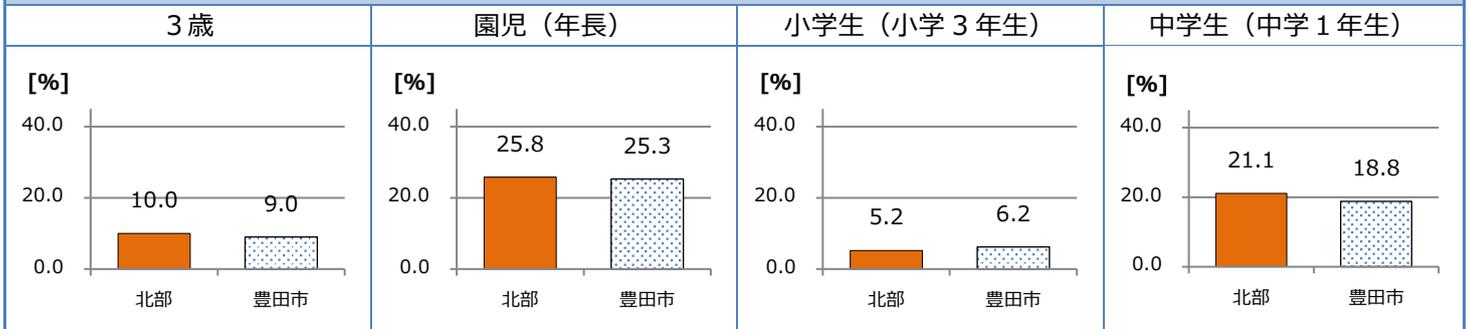
子ども 健康診査(令和3年度)

【北部】 井郷・石野・猿投・猿投台・保見・藤岡・藤岡南

㉖肥満者率



㉗う歯有者率



データから見る地区の特徴と課題

- ・国民健康保険特定健康診査の受診率は市より高いが、経年的に横ばいのため、継続受診や受診率向上に向けた取組を進める。
- ・国民健康保険特定健康診査結果において、年齢調整による国との比較では男女ともに「生活習慣改善の意思なし」が有意に高い。
- ・高齢化率は市より高く、後期高齢者医療制度の健康診査結果では、女性の「高血糖」、「歩行速度遅い」の割合が市より高い。このことから、健康教育や元気アップ教室を通し、食習慣の改善や運動習慣の定着に向け、自主活動グループへの参加勧奨など、啓発の機会を増やす取組が必要である。
- ・市民意識調査から「自治区・地域活動」への参加率は市より高い。また、「健康づくりの取組内容」では「人と交流する」「外出する」と回答した割合が高いため、引き続き、各自治区の健康づくりの取組状況を周知し、自治区行事と合わせ、身近な場所で気軽に健康づくりが楽しめる機会が増えるよう、計画に基づいた活動を地域ぐるみで推進していく。